

### 1 改訂の基本的な考え方（中学年における外国語活動導入の趣旨）

高学年から、段階的に文字を「読むこと」、「書くこと」を加え、教科として系統性をもたせた指導を行うことを踏まえ、中学年では「聞くこと」、「話すこと」を中心とした外国語活動を年間35単位時間導入し、外国語に慣れ親しませ、外国語学習への動機付けを高める。

### 2 目標の改善

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

外国語教育において育成を目指す資質・能力を明確にした上で、各学校段階の学びを接続させるとともに、「外国語を使って何ができるようになるか」の観点から、国際的な基準を参考に、三つの領域において小・中・高等学校で一貫した具体的な目標を設定し、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

**Point** 領域別の目標に記されている「簡単な語句や基本的な表現」とは、第2の2(1)に示されている語や連語、慣用表現、文を指しているが、初めて外国語に触れる段階であることを踏まえ、中学年という児童の発達の段階に合ったものを適宜選択する。

**Point** 聞くこと、話すことの言語活動を通じた指導をすること、体験的に理解を深めることや外国語や母語への気付きを大切にすること、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ活動を通して自分の考えや気持ちを伝え合う力の素地を育成することに留意する。

### 3 学習内容の改善・充実

・知識及び技能の育成については、実際に英語を用いた言語活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるようにする。

**Point** 「知識及び技能」の内容としては、コミュニケーションに関する事項と、言語や文化に関する事項とで構成されている。これは、外国語活動における「知識及び技能」に関わる目標を達成するためには、他者と主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知るとともに、日本と外国の言語や文化について理解することが大切だからである。そのため、指導は英語による言語活動を通して行われることが重要であり、解説等を通して行われるものではないことに留意する。

**Point** 単元の終末に「知識及び技能」を活用してどんな言語活動をするのかを明確にした指導計画を作成する。  
・思考力、判断力、表現力等の育成については、具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどを表現することを通して、身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

**Point** 「英語で表現したり、伝え合ったり」とは、決められた表現を使った単なる反復練習のようなやり取りではなく、伝え合う目的や必然性のある場面でのコミュニケーションを大切に、相手の思いを想像し、伝える内容や言葉、伝え方を考えながら、相手と意味のあるやり取りを行う活動を様々な場面設定の中で行う。

**Point** 音声を中心とした指導を通して基本的な表現に十分に慣れ親しませて、コミュニケーションを図る素地を育成できるよう、児童の聞きたい、話したい気持ちを高める課題や言語活動を工夫する。

### 4 学習指導の改善・充実

・言語活動で扱う題材については、我が国の文化や外国語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つものとする。

**Point** 児童の興味のある題材や語彙を生かすよう児童の実態を把握した上で、実際のコミュニケーションにつながる言語活動を通して、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験させる。

・外国語を初めて学習することに配慮し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達との関わりを大切にしたい体験的な言語活動を行うこととした。

**Point** 単元終末段階の児童に望む具体的な姿のイメージをもち、実態に応じて単元を見通して課題設定をする。

**Point** 言語活動は、相手意識と中身のある活動が基本であり、児童が本当に伝えたい内容を話したり、友達の話す内容を聞いたりすることができる場面を設定していく。